



埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 会報

# 第 624 号

平成27年10月20日編集

発行所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電話 048(645)1906  
FAX 048(648)1865  
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL : http://www.saitama-vma.org/  
振替口座 00110 - 9 - 195954 番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

## 記事の内容

日本獣医師会主催 2015動物感謝デー in JAPAN開催される……………	1
平成27年度全国獣医師会会長会議開催 される……………	3
獣医療法第5条に規定される管理者の 考え方……………	5
野鳥における高病原性鳥インフルエンザ ウイルス保有状況調査の実施について……	5
<b>会務報告</b>	
第2回 獣医事調査委員会……………	6
<b>予告</b>	
西支部学術講習会のお知らせ……………	7
<b>新入会員報告</b>	
新入会員紹介……………	8
<b>ひろば</b>	
新入会員の抱負……………	9
埼玉県獣医師会会長 埼玉県衛生研究所を 視察……………	10
北支部学術講習会開催報告……………	11

第131回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会 コンペ結果報告……………	11
------------------------------------	----

## お知らせ

平成28年新春懇談会の開催について……………	12
平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会 について……………	13
第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会 参加者に対する助成金交付について……	14

## 切り抜きニュース

○地道な研究 途上国救う -大村氏ノーベル賞 発見の菌から新薬-	15
○梶田氏にノーベル賞 -東松山出身 県内初-	15
○移動する耐性菌 注視 -野外環境から生活圏に入る恐れ-	15

埼玉県獣医師会学術広報版……………	17
-------------------	----

## 事務局より

事務局メモ……………	18
------------	----

編集後記……………	19
-----------	----

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

# 日本獣医師会主催 2015動物感謝デー in JAPAN 開催される



開会式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会会長（マイク前）

前列左から、高橋三男会長（動物感謝デー企画検討委員会委員長）、北村直人日本獣医師会顧問（同副委員長）、酒井健夫副会長、藏内会長、砂原和文日本獣医師会副会長（秋田県獣医師会会長）、村中志朗東京都獣医師会会長（動物感謝デー企画検討委員会副委員長）

林芳正農林水産大臣、高市早苗総務大臣、森英介衆議院議員、斉藤鉄夫衆議院議員、北村誠吾衆議院議員、高木美智代衆議院議員、山際大志郎衆議院議員、福山守衆議院議員、片山さつき参議院議員、大家敏志参議院議員、越智隆雄衆議院議員

平成27年10月3日（土）、日本獣医師会主催による2015動物感謝デー in JAPANが東京都立駒沢オリンピック公園中央広場で開催されました。

この動物感謝デーは、獣医師が活躍する多様な職域や獣医療の社会的役割について国民に理解を深めてもらうとともに、動物の福祉と愛護精神の高揚を通じて人と動物が共存する豊かな社会の形成を目的に、地方獣医師会や関連団体が協賛して2007年以降開催されており、今年が第9回となります。

高橋三男会長は、一昨年来、動物感謝デー企画検討委員会の委員長に就任されており、運営にあたりましては高橋委員長が先頭に立って「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマに掲げてイベントなどの企画立案に取り組んで参りました。今年は昨年に引き続き天候にも恵まれ、会場では多彩なイベントが催され、参加者も昨年より多い29,000人の家族連れなどで賑わいました。

午前10時からの開会式では、主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶し、来賓の国会議員の祝辞や紹介がありました。続いて、本会会員で諏訪流放鷹術保存会鷹匠、大橋邦啓先生（北支部）による放鷹術が披露され、鷹のハリスホーク号が開会宣言文をステージまで運び、宣言文を受け取った砂原和文日本獣医師会副会長が開会を宣言しました。

開会式の後、メインステージでは「ペットと生きて健康そして元気に長寿」や「マイクロチップを知っていますか？」をテーマにしたトークショー、獣医師の仕事などを分かりやすく紹介するプログラムなどが行われました。

また、中央広場では、動物ふれあいコーナーや獣医師を体験で



開会宣言を運ぶハリスホーク号

きるコーナーが設置されるとともに、警察犬・災害救助犬など働く動物たちのデモンストレーション、映画「夢は牛のお医者さん」の上映など多彩なイベントが行われ、来場者は絶えることなく、一日中、楽しんでおりました。

今年も、昔懐かしい「ちんどん屋」のパフォーマンスがあり、会場を盛り上げました。

### 賑わう埼玉県獣医師会のブース

地方獣医師会のコーナーでは、地域の特産物の試食や販売が行われました。

埼玉県のコーナーでは、安全・安心な牛肉生産に取り組む農場管理獣医師協会の活動紹介と併せて、同協会の指導により生産されたブランド畜産物「彩さい牛」の串焼きなどの試食や販売を行いました。

彩さい牛は、生産を指導してきた会員獣医師の努力もあり、今では「安全・安心でおいしい牛肉」として定着してきており、午後3時には完売してしまいました。

会場では、生産農家をはじめ、彩さい牛をレストランで提供しているホテル・ヘリテージ(熊谷市)の杉田社長や齊藤総料理長も参加し、生産から流通・消費の関係者が一体となって美味しさと安全性をアピールしていただき、本県のテント前には串焼きなどを求める長い列ができ、一際、周囲の目を引いておりました。

また、埼玉県が全国に誇る特産の「狭山茶」も生産者の協力を得て試飲・販売することができ、会場は大いに盛り上がりました。

### 閉会式

閉会式は午後4時40分からメインステージで行われました。

まず、動物感謝デー企画検討委員会の委員長である高橋三男会長が壇上に立ち「動物感謝デーも年々規模が大きくなり参加者も増えてきている。今年も感謝デーの開催により人と動物の絆が一層深まった。また、来年もお会いしましょう。」と閉会の辞を述べられ、北村直人日本獣医師会顧問(同副委員長)の閉会宣言により閉会いたしました。



ちんどん屋が会場を盛り上げた



彩さい牛を求める長い行列



企画検討委員会委員長として閉会の辞を述べる高橋三男会長

### 出展に御協力いただいた皆様方

左から ホテル・ヘリテージ社長 杉田憲康様(熊谷市)、北村直人日本獣医師会顧問、1人おいて肉牛生産者 植井敏夫様(上里町)、3人おいて砂原和文日本獣医師会副会長(秋田県獣医師会会長)、高橋三男会長、藏内勇夫日本獣医師会会長、中村滋副会長、狭山茶生産者 平塚尚吾様(入間市)、小暮一雄副会長、1人おいて、農場管理獣医師協会 中村陽二先生(北支部)、ホテル・ヘリテージ総料理長齊藤勇人様(熊谷市)、1人おいて農場管理獣医師協会 飯田潔先生(北支部)

## 平成27年度全国獣医師会会長会議開催される



常設議長として議事を進行する高橋三男埼玉県獣医師会会長  
右は副議長の宮澤宏前長野県獣医師会会長

平成27年度全国獣医師会会長会議が平成27年10月2日の午後2時から、東京都港区の明治記念館「鳳凰の間」において開催され、前期に引き続き常設議長として要職を担うこととなった高橋三男埼玉県獣医師会会長と、今回、新たに副議長として就任した宮澤 宏 前長野県獣医師会会長が議事を進行しました。

会議では、冒頭、主催者として藏内勇夫日本獣医師会会長、続いて北村直人日本獣医師会顧問(同政治連盟委員長)が挨拶した後、司会者の紹介により、高橋三男常設議長が宮澤 宏副議長とともに登壇し、「私に続く後輩の皆さんが、この議長職をりっぱに果たしていただくため、初代議長として、議事を進めて参りたい」と所信を述べられ、議事に入りました。

議事では、先ず「説明・報告事項」として①特別委員会及び部会委員会に関する件、②当面の課題への対応方針(ロードマップの策定)に関する件、③日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催に関する件、④2015動物感謝デー in JAPAN“World Veterinary Day”の開催に関する件、⑤世界獣医師会—世界医師会“One Health”に関する国際会議の開催に関する件、⑥日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「越境性感染症の現状と課題」の開催に関する件について境 政人専務理事から報告と説明がありました。

また、その他の報告・連絡事項として、北村直人日本獣医師会顧問から日本獣医師政治連盟の活動報告があり、境専務理事からは関東・東北豪雨に係る獣医師の被害状況についての説明がありました。更には、被害の大きかった茨城県獣医師会の小林貞雄会長から自衛隊が被害者を救出する際に、人と一緒に犬も救出さ

れたこと、家畜伝染病の蔓延防止などについても自衛隊とのつながりが必要であり、日頃から自衛隊との連携を大切にしておく必要があるとのお話がありました。

議長は、これらの説明等に対する質問や意見の調整に当たられるとともに、より多くの地方会の会長に発言していただくため、発言者の指名を行うなどして、会議での議論が活発になるよう盛り上げておられました。

閉会に当たっては、日本獣医師会から議長、副議長に感謝する旨の発言があり、予定した午後5時に、全国獣医師会会長会議は閉会となりました。

終了後にも、地方会会長から「このように意見交換が出来る時間がもっとあったら良かった」との声が聞かれるほど会議の進行は好評であり、充実したものとなりました。

会議終了後、「曙の間」に会場を移し、「全国獣医師会・日本獣医師会事業推進懇談会」が開催されました。事業推進懇談会は、翌3日(土)開催の「2015動物感謝デー in JAPAN」の盛大な開催と獣医師会関係者の交流に向けて、地方獣医師会会長のほかにも動物感謝デーに参加する地方会の会員や協賛団体・企業関係者等も多数出席され、和やかな中、互いの交流と懇親を深められました。



動物感謝デーの成功に向け懇親会開会を告げる砂原和文日本獣医師会副会長（秋田県獣医師会会長）  
右から 境政人日本獣医師会専務理事、北村直人日本獣医師会顧問、高橋三男埼玉県獣医師会会長、一人おいて、藏内勇夫日本獣医師会会長、村中志朗東京都獣医師会会長、酒井健夫日本獣医師会副会長、小松泰史理事（東京都獣医師会副会長）

27日獣発第186号

平成27年 9月29日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

## 獣医療法第5条に規定される管理者の考え方

このことについて、平成27年9月18日付け27消安第3454号をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、獣医療法第5条に規定された診療施設の管理者については、事務次官依命通達により、「責任の所在を明確にする観点から、一人であり、かつ、診療時間中は当該診療施設に常勤することが適当」とされているが、当該施設が飼育者のニーズに対応して24時間診療を行う場合や、管理者の外勤、出張等も考慮し、その診療施設が定めた獣医師の所定労働時間を勤務していれば「常勤」として差し支えないこととし、これを周知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※詳細（別添含む）については、日本獣医師会ホームページ（新着情報）をご覧ください。

27日獣発第176号

平成27年 9月25日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

## 野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス 保有状況調査の実施について

このことについて、平成27年9月9日付け環自野発第1509091号をもって、環境省自然環境局野生生物課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、同省では「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、本年度も本格的に渡り鳥の飛来が始まる10月より、野鳥におけるサーベイランスを実施することとし、都道府県知事宛て取組みを依頼したので、本会においても、その旨了知の上、円滑な本調査の実施への協力が依頼されたものです。

つきましては、以上について、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※詳細（別添含む）については、日本獣医師会ホームページ（新着情報）をご覧ください。

## 第2回 獣医事調査委員会

平成27年10月1日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

### 協議事項

新入会員の審査について

入会申込書が提出されている農林支部4名及び団体支部6名の入会について審査し、全て適正と認め理事会に付議することとなった。

広告

胃腸と皮膚が気になる小型犬のための総合栄養食

**Dr. CREDO No.1**  
ドクタークレド

- 食物アレルギーの原因となりにくい米と鶏肉を使用
- 優れた栄養バランスで皮膚・被毛の健康をサポート
- 健康的な腸内環境を保ち抵抗力を維持
- 抗酸化成分配合で毎日の健康を維持

本製品は小型成犬の健康維持をサポートするフードです。

『ドクタークレド』は、人の食品と同等基準の品質と安全性に、美味しさをプラスした動物病院専用フードです。  
タイの世界的食品メーカー「ベタグロ社」のGMP・HACCP・ISOの認定を受けた工場で製造しています。



**M 森久保薬品株式会社**

神奈川県厚木市栄町1-8-17 TEL: 046-222-2333  
東京: 042-364-2381 埼玉: 047-590-0881 三重: 045-848-2112 神奈川: 046-221-0620  
つくば: 029-843-1661 山梨: 055-224-9278 群馬: 027-238-8222 栃木: 028-666-3099  
茨城: 029-241-5131 富田: 0476-40-5811 茨城: 0475-24-1813

## 予 告

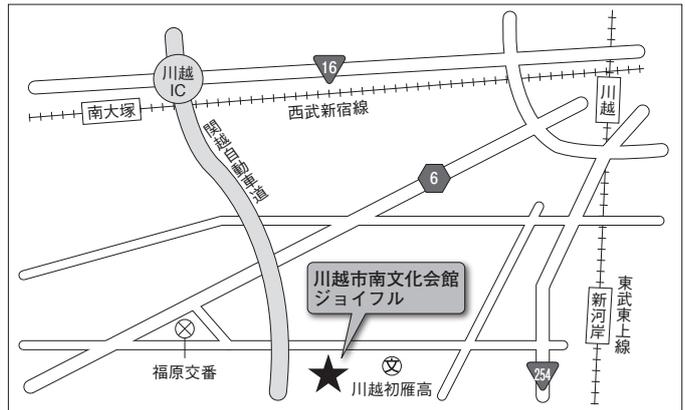
## 西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1))

西支部長 別部 博司

西支部では平成27年11月29日(日)に日本小動物医療センター 総合診療科 消化器科科長 中島 亘 先生をお招きして全2回「下痢・嘔吐の診療」(前半 下痢の診療)の講習を行います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成27年11月29日(日)  
13:30~16:30(13:00受付)
- 場 所 川越市南文化会館 ジョイフル  
川越市大字今福1295-2  
TEL: 049-248-4115
- 演 題 下痢・嘔吐の診療(前半 下痢の診療)
- 講 師 日本小動物医療センター  
中島 亘 先生
- 参加費 埼玉県獣医師会会員 無料  
会員以外の受講者 5,000円



広告

地域  
ど密着!

1週間  
無料試読  
できます!

ずっと埼玉 もっと埼玉



県内のニュースは、やっぱり地元紙が一番詳しい!

購読・試読のお申し込みは



0120-633-888

〒331-8686 さいたま市北区吉野町2-282-3 電話受付時間/平日:土曜午前9:00~午後6:00

埼玉新聞 検索  
http://www.saitama-np.co.jp

ご購読は月々 2,983円 明刊のみ(税込)

埼玉新聞社

## 新入会員報告

## 新 入 会 員



かやもり こうじ  
栢森 康司

入間市在住  
団体支部

## 勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
団 体	栢 森 康 司	入間市 高倉動物病院

## 広告

公益社団法人日本獣医師会 獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に  
大きな安心を!!



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

## 「獣医師会のほけん」

病気やケガに備える

所得補償保険

団体長期障害  
所得補償保険

新・団体医療保険\*

傷害総合保険

動物病院従業員補償  
傷害総合保険

\*医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」「現金・有価証券等」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償  
(ショップオーナーズ保険)

動物病院「現金・有価証券等」総合補償  
(コーポレートマネーガード保険)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F  
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

団体・公務開発部第二課  
〒100-8865 東京都千代田区豊か闘3-7-3  
TEL:03-3593-6453 FAX:03-3593-6751  
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は  
下記幹事代理店までご請求ください。  
なお、携帯電話からもご請求いただけます。  
下のQRコードからアクセスしてください。



「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

SJNK14-13868 (2014.12.29)

## 新入会員の抱負 埼玉県獣医師会に入会して

西支部 上原 大地

(霞ヶ関どうぶつクリニック)



自宅にて長男2歳の誕生日

今年より、埼玉県獣医師会開業部会に入会させていただきました上原大地と申します。私は2008年に北里大学を卒業し、卒後は三郷市のみさと動物病院、川口市のはとがや動物病院に勤務させていただきました。

その後、川越市の霞ヶ関動物外科クリニックに勤務し、2年半の承継期間を経て今年より承継開業をいたしました。前院長の猪野正毅先生とお会いした際、先生の獣医師としての考えにとっても感銘を受けました。また、先生の手術の技術やスピード、丁寧さはこれまで見たことのないものでした。是非、働かせていただきたいとお伝えし、勤務さ

せていただくこととなりました。

猪野先生は外科(特に整形・神経外科)に特化した診療を行い、近隣の先生方からの紹介症例を数多く執刀されていまして、承継期間は沢山の勉強をさせていただきました。外科に関する疑問をすぐに相談させてもらえるというのは非常に恵まれた環境であったと大変感謝しております。

川越市霞ヶ関はとても温かい雰囲気のある地域で、近くには穏やかな川が流れ、春には満開の桜を見ることができる大きな公園もあります。オーナー様ものびのびと伴侶動物との生活を楽しんでいらっしゃるようです。この地で開業できてよかったと常々感じております(子育てしやすいと妻も喜んでくれています)。

勤務医時代より、沢山の獣医師の先生方が猪野先生のもとを訪れていましたので、近隣の先生方ともお話できる機会が多く、開業した際、安心して獣医師会に入会させていただくことができました。現在、西支部の先生方に獣医師会関連の業務を少しずつ教えていただいている最中です。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけしているにもかかわらず、非常に丁寧に教えていただいております。今後は微力ながら獣医師会、そして地域医療に貢献できるよう、努力をしていきたいと考えております。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 埼玉県獣医師会会長 埼玉県衛生研究所を視察

高橋三男会長は、平成27年10月14日に埼玉県衛生研究所を視察しました。多くの会員が研究員として勤務する同研究所は、平成26年にさいたま市桜区上大久保から吉見町江和井に移転し、最新の検査機器を備えた充実した施設として再スタートしました。

同研究所を訪れた高橋会長は、本多麻夫所長から施設概要の説明を受けたのち、斎藤章暢地域保健企画室長(衛生支部)の案内で施設内部を視察しました。各研究エリアでは研究員の会員獣医師から業務内容について詳しく説明を受け、人の健康を守る研究機関で活躍する会員を激励しました。

視察後の本多所長との懇談では、高橋会長は「インフルエンザの流行予測や感染症の確定診断、食中毒の原因究明など、この研究所には、埼玉県の衛生行政の科学的、技術的中核を担っていただいている。職員が誇りと使命感をもって真摯に業務に取り組む姿勢に感銘した。獣医学は裾野の広い学問であり、獣医師は幅広い分野で活躍できる知識と技能を有している。最近では将来に向けての目的をしっかりと持って獣医大学で学ぶ学生が目立つようになった。この様な若い人たちは社会人としてもしっかりとした目標を持ちつづけて仕事に取り組んでくれている。

獣医学術の進歩は目覚ましく、一昔前では想像もできなかったレベルに達してきており、このような環境で育ってきた獣医師職員は必ずや県政のために貢献できるものと確信している。」と述べ、獣医師への深い理解をお願いしました。



埼玉県衛生研究所の玄関にて  
左から、本多麻夫所長、高橋三男会長、小ノ澤克彦副所長、  
斎藤章暢地域保健企画室長

## 北支部学術講習会開催報告

北支部学術委員 井 誠

10月4日(日)「熊谷文化創造館 さくらめいと」にて北支部学術講習会を開催いたしました。今回、麻布大学外科学第1研究室 教授 藤井洋子先生をお招きし、「こんな心電図に要注意！症例から見る心電図のよみかた」というテーマでご講演をいただきました。

不整脈の発生機序を理解するための基礎編と実際にあった症例の心電図から、心疾患だけでなく全身疾患を背景に広い範囲での治療と考察をまじえた臨床編を短い時間ではありましたが、分かりやすく解説して頂きました。盛りだくさんの講演内容で、ご参加いただきました先生方にとっては、大変有意義な講習会となったものと思います。講演会前夜に行いました懇親会も大変盛り上がりしました。

### <参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
35名	0名	0名	0名	2名	23名	3名	1名	6名

## 第131回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会 会長 齋藤 和也  
幹事 山田 和男  
高橋 秀児

10月1日(木)、森林公園ゴルフ倶楽部において、第131回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが30名の参加で開催されました。

今回は、神奈川県獣医師会ゴルフ同好会の精鋭4名が特別参加してくださり、いっそう盛り上がったコンペになりました。

森林公園ゴルフ倶楽部はフェアウェイも広く、とてもきれいなコースで、風も無く秋のすがすがしい天候の中、参加者は気持ちの良いラウンドをすることが出来ました。結果は以下の通りです。

		OUT	IN	H.D.C	NET
優 勝	増田 淳先生(衛生支部)	42	36	10	68
準優勝	吉田 初雄先生(北支部)	46	45	21	70
第3位	佐々木顕正先生(神奈川県)	41	37	7.2	70.8
ベストグロス	佐々木顕正先生	78ストローク			

(優勝の増田先生も78ストロークでしたが、年齢の高い方が上位になります)

次回は12月3日(木)、鴻巣カントリークラブで開催する予定です。とても和気あいあいの楽しい会ですので、会員の皆様の参加をお待ちしております。



左から 吉田初雄先生(準優勝)、  
増田 淳先生(優勝)、佐々木顕正先生(第3位)

**お知らせ****平成28年新春懇談会の開催について****1 開催の趣旨**

平成28年度における集合狂犬病予防注射事業の的確な実施に向けて、集合狂犬病予防注射実施者講習会を開催するとともに、平成28年の新春にあたり会員相互と関係機関・関係者との交流を深めることで、社会に貢献する公益法人としての埼玉県獣医師会の役割を改めて認識し、公益事業の推進に資する。

**2 日時** 平成28年1月22日(金)  
午後1時～(受付 午後0時30分～)

**3 場所** 清水園  
さいたま市大宮区東町2-204  
TEL：048-643-1234 FAX：048-645-4321  
(JR大宮駅下車 東口から徒歩10分)

**4 内容****(1) 平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会(1F 寿の間)**

午後1時～午後2時45分

講演

- ①日本獣医師会 会長 藏内勇夫 先生  
(仮)日本獣医師会の重点課題と取り組み  
—特に、狂犬病予防対策への対応—
- ②日本大学生物資源科学部 教授 丸山総一 先生  
(仮)狂犬病など動物が介在する感染症について
- ③日本獣医師会 顧問 北村直人 先生  
(仮)獣医師・獣医師会を巡る情勢について

対象者

開業会員、行政関係職員ほか

**(2) 賀詞交換会(3F 飛龍の間)**

午後3時～午後5時

主催者挨拶、来賓挨拶、懇親

来賓(予定)

埼玉県知事、さいたま市長、国会議員、県・さいたま市議会議員

日本獣医師会会長、埼玉県医師会会長ほか

**参加費 会員 5,000円**

## 平成27年度集合狂犬病予防注射実施者講習会について

平成28年度における集合狂犬病予防注射事業の的確な実施に向け、「埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領」に基づき、下記(1)のとおり「平成28年新春懇談会における集合狂犬病予防注射実施者講習会」を開催しますので、集合狂犬病予防注射の実施を希望する先生におかれましては、受講をお願いします。

なお、下記(1)の講習会への参加の予定が立たない先生方は、下記(2)「第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム」の参加を、(1)講習会の出席と見なしますので、受講してください。

### (1) 「平成28年新春懇談会」における「集合狂犬病予防注射実施者講習会」

新春懇談会の開催内容は次のとおりです。

**日時** 平成28年1月22日(金)

- (1) 集合狂犬病予防注射実施者講習会 午後1時～2時45分
- (2) 賀詞交換会 午後3時～5時

**場所** 清水園

さいたま市大宮区東町2-204

TEL：048-643-1234 FAX：048-645-4321

(JR大宮駅下車 東口から徒歩10分)

※詳細は、別紙「平成28年新春懇談会の開催」のとおり

なお、講習会終了後、来賓を交えて賀詞交換会を開催しますので、多数の参加をお願いします。

### (2) 第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム(以下、「連携シンポジウム」)

連携シンポジウムの開催内容は次のとおりです。

**日時** 平成27年11月6日(金)

午前10時～12時30分

**場所** 日本医師会館大講堂

文京区本駒込2-28-16

(JR山手線 駒込駅下車 南口から徒歩10分)

※詳細は、9月号会報第623号の13、14ページのとおり

#### 受講の申し込み

連携シンポジウムへの出席予定者を事前に把握させていただきます。

つきましては、出席を希望される先生は、班長を通じて狂犬病予防委員にご連絡ください。

各支部の狂犬病予防委員は、出席者を取りまとめの上、埼玉県獣医師会事務局にTEL等で事前にご連絡ください。

埼玉県獣医師会事務局

TEL：048-645-1906、FAX：048-648-1865

Eメール：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

#### 出席の確認

連携シンポジウムへの出席を確認するため、当日は、受付会場付近にて事務局職員が待機しますので、入場の際にお声掛けください。

## 第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会参加者 に対する助成金交付について

本会では会員の獣医学術の研鑽向上に向け、平成27年度予算において標記学術大会に参加した開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部助成金交付を措置しております。

つきましては、助成金交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

### 1 第12回学術大会

- (1) 開催月日 平成28年 2月19日(金)～21日(日)
- (2) 会場 「パシフィコ横浜」 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
- (3) 主催 日本獣医内科学アカデミー(JCVIM)
- (4) 参加登録費(抄録は別)
 

	事前登録	当日登録
一般参加者	20,000円	28,000円
(※会員、共催団体の会員、非会員とも同額です)		
1日参加者(※ )		
2月19日(金)	12,000円	17,000円
2月20日(土)・21日(日)	13,000円	18,000円
抄録集(冊子)	3,000円(2冊セット)	
※抄録集(PDFバージョン)はHPよりダウンロード可能		
- (5) 事前参加登録締切 平成28年 1月20日(水)

### 2 助成金

- (1) 助成金額 1人当たり 5,000円 (開業支部会員に限る。)
- (2) 助成金交付事務手続き

「参加登録費」の支払いを証する書面(下記の何れか)の写しを埼玉県獣医師会事務局まで提出してください。

- 「振替払込請求書兼受領証」
- 「登録費領収書」
- 「参加登録証(E-mail)」

提出期限 平成28年 3月 9日(水)まで(必着)

※ 本学術大会の詳細な内容等については、「日本獣医内科学アカデミー学術大会」ホームページをご覧ください。

## 切り抜きニュース

## 地道な研究 途上国救う 大村氏ノーベル賞 発見の菌から新薬

今年のノーベル医学生理学賞が5日、抗寄生虫薬で途上国の多くの患者を失明から救った大村智さん(80)らに決まった。「世の中に役立ちたい」という思いを胸に、来る日も来る日もかき集めた土を調べ続けた愚直な研究者に、幸運が訪れた。

「土壌から2千株、4千株の菌を分離していく。一人でやるのは大変。みんなよく働いた」。大村さんは5日の記者会見で、これまでの研究を振り返った。

アフリカや中南米の人たちを苦しめる病気の特効薬になったのは、伊豆半島のゴルフ場近くの土から見つかった細菌の仲間だった。

1㊦の土には1億もの微生物がいて、ごくまれに薬をつくり出す菌がいる。北里研究所の抗生物質室長だった大村さんは、研究員たちと小さなポリ袋とスプーンを持ち歩き、通勤や出張の度に各地の土を集めた。

ある日、菌の培養液が入った試験管の一つに目がとまった。これまでにない色と性質を示していた。カビに似て、放射状に菌糸を出す放線菌という細菌の一種で、1974年に静岡県伊東市のゴルフ場近くで採った土に含まれていた。「この菌は面白そうだ」

有望な菌の一つとして、共同研究していた米製薬大手メルクに送った。しばらくして返事が来た。「菌がつくる物質は寄生虫を退治する効果が高い」

マウスに飲ませると、感染していた寄生虫が激減したという。家畜の栄養を奪う寄生虫を退治できれば、食肉や羊毛の増産につながる。化学物質の分子構造を確認し、「エバメクチン」と名付けた。79年に共同で論文を発表した。

改良し、81年に発売された家畜用の抗寄生虫薬「イベルメクチン」は、特に牛や馬、羊などの腸管に寄生する線虫類に効果的だった。線虫の神経をマヒさせ、死滅させる作用があった。2年後、イベルメクチンは動物薬の売り上げトップになっていた。

大村さんがメルク社と共同研究することにした

のは、米国留学からの帰国後の研究費不足が予測できたからだ。日本の研究者の間では、産学連携に対する抵抗が強い時代。それでも研究環境に恵まれた米国の研究者と対等の成果を上げるには、企業から資金を集めるしかないと考えた。

朝日新聞 10月6日

## 梶田氏にノーベル賞 東松山出身 県内初

スウェーデンの王立科学アカデミーは6日、2015年のノーベル物理学賞を、重さがないと考えられていた素粒子「ニュートリノ」に質量があることを見つけた梶田隆章・東京大宇宙線研究所長(56)＝東松山市出身、川越高・埼玉大出＝ら2人に授与すると発表した。宇宙の謎に挑んだ日本のニュートリノ研究が最高の栄誉に輝いた。5日に医学生理学賞に決まった大村智北里大特別荣誉教授(80)に続く連日の受賞。埼玉県出身のノーベル賞受賞者は初めて。

梶田氏らの発見は、宇宙の成り立ちを説明する長年の理論に修正を迫る歴史的な成果とされている。梶田氏はノーベル財団との電話インタビューで「本当に驚いている。信じられない」と話した。

日本人受賞者は計24人となる。物理学賞は、青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎勇名城大終身教授(86)ら3人が独占した昨年からの連続受賞で、日本の物理学の実力を示す快挙となった。

梶田氏は、02年に物理学賞を受賞した小柴昌俊東京大特別荣誉教授(89)の教え子で、一つの研究チームから2度の受賞は日本で初めて。

埼玉新聞 10月7日

## 移動する耐性菌 注視 野外環境から生活圏に入る恐れ

抗菌薬の使いすぎなどで細菌に生じる薬剤耐性。こうした薬剤耐性遺伝子を持つ細菌が、環境中を移動している実態がわかってきた。耐性菌が野外環境から人間の生活圏に入ってくる恐れもあり、国際社会も対応を模索し始めた。

## ハエや鳥「運び役」の可能性

抗菌薬を使う医療や畜産・養殖の施設で、耐性菌が発生することは広く知られている。日本では、抗菌薬全体の5割以上が動物に、3割近くが医療目的で人間に使われている。こうした場所で生まれた耐性遺伝子が拡散するメカニズムも少しずつ見えてきた。

2013年に酪農学園大学の臼井優講師らは、沖縄県の養豚場や牛舎、食肉処理場でハエやフンから採取した菌を培養し、抗菌薬に対する耐性を持つ菌がいるかを調べた。すると、ハエとフンから同じ耐性遺伝子を持つ細菌を見つけた。ハエに乗って耐性遺伝子が広がっていく可能性を示す結果だ。

ほかにも水鳥やネズミなど、人間の生活圏に近い動物が耐性菌を保有している報告がある。臼井さんは「耐性菌が人間の生活圏と野外環境などの間を行ったり来たりするという視点を持って対策を立てることが重要だ」と話す。

北極、ヒマラヤなど、人がほとんど立ち入れないような場所でも薬剤耐性遺伝子を持つ微生物が近年、次々に見つかっている。

京都府立大学や国立極地研究所の調査では、極地や高山など49カ所から集めた氷や雪などの試料54点のうち44点から、何らかの薬剤耐性遺伝子が確認された。ほかにも、カナダの研究者が永久凍土から抗菌薬バンコマイシンへの耐性遺伝子を発見した。南極のペンギンの腸内細菌で見つかった例もある。

京都府立大の牛田一成教授は「大気中のほこりやちりに付いた細菌のうち耐性遺伝子を持ったものが大気の循環で運ばれたり、渡り鳥が運んだりしたと考えられる」と話す。

一度生まれた耐性遺伝子は、野外環境に長くどまることもわかってきた。

抗菌薬サルファ剤は、日本国内の魚の養殖場では近年は使われなくなってきたのに、それに対する耐性菌がいまも日本近海から多く見つかっている。愛媛大学沿岸環境科学研究センターの鈴木聡教授らが四国沿岸で採取した海水中の細菌を、研究室で培養できないものも含めて調べた。その結果、細菌100～1千に一つが、1年を通じて何らかのサルファ剤耐性遺伝子を保有していた。

台湾、フィリピン、フィンランドなど、海外の

海でも同様の状況があることもわかってきた。海は耐性遺伝子の「貯蔵庫」になっている可能性があるという。

## 分野超え対策必要

耐性菌問題は最近、急速に注目を集めている。

世界保健機関(WHO)は昨年、世界114カ国からのデータに基づき、報告書をまとめた。1980年代にはほぼ耐性がゼロだったある抗菌薬が、今では世界の多くの地域で、患者の半分以上に効かなくなっていることなどを指摘した。

英政府が昨年末に出した報告では、薬剤耐性菌が原因で2050年には年1千万人が命を落とす恐れがあるとした。今年6月にあった主要7カ国首脳会議(G7サミット)の首脳宣言には、耐性菌対策として適正使用や基礎研究を進めることが初めて盛り込まれた。

こうした背景から、医療や畜産の現場だけでなく、耐性菌の広がりや生活圏と野外環境の間で行き来することへのリスクにも注目が集まっている。

日本では、医療現場の薬物耐性モニタリングは厚生労働省が、農場などは農林水産省が担ってきたが、食品など横断的な分野などで両省が連携、統合する動きが出てきた。

ただ、愛媛大学の鈴木教授は「耐性菌の動向の全体像把握は遅れている。分野を超えた国際的な仕組みを作り、モニタリングとリスク評価の体制作りを加速するべきだ」と指摘する。(小坪遊)



# 平成27年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成27年10月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
6月14日(日)		北支部 「麻酔モニタリングを読む」 山口大学 井芹 俊恵 先生 (熊谷市 熊谷市立商工会館)	
6月14日(日)		東支部 「とにかく尿検査、尿検査、尿検査！ 腎性蛋白尿を軽んじてはならない！」 日本獣医生命科学大学 竹村 直行 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
6月19日(金) ～21日(日)	第90回日本獣医麻酔外科学会／第102回日本獣医循環器学会／第57回日本獣医画像診断学会 2015春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月5日(日)		東支部 「皮膚科診療でペットオーナーの心をつかむ ～継続診療につながるインフォームド・コ ンセントをしていますか～」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ！犬および猫の下部呼吸器 疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
9月13日(日)	平成27年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (横浜) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (神奈川県横浜市 パシフィコ横浜)		
10月4日(日)		北支部 「こんな心電図に要注意！ ～症例から見る心電図の読み方～」 麻布大学 藤井 洋子 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
10月16日(金)	北支部 「子牛の免疫についてⅡ(離乳 ～育成期)」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月3日 (火・祝)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(1)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
11月8日(日)		東支部 「肝・胆・脾の診断と治療」 日本大学 坂井 学 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月29日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (前半 下痢の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月	農林支部 平成27年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会		
平成28年 1月17日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 講師 未定 (場所 未定)	
1月24日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (後半 嘔吐の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月14日(日)		西支部 「耳科診療アップデート 耳炎撲滅にむけて…」 講師 白井犬猫病院 白井 玲子 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
2月26日(金) ～28日(日)	平成27年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (秋田) (秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン、にぎわい交流館 AU)		
3月6日(日)		西支部 「(仮) 病理組織診断を最大限生かす為に」 病理組織診断 CAPITAL 代表 石原 勇介先生 (川越市 川越南文化会館)	

## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>  
ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- |        |   |           |   |
|--------|---|-----------|---|
| 10月2日  | 日本獣医師会全国獣医師会会長会議<br>(東京都港区 明治記念館)                 | 11月29日    | 西支部学術講習会 (川越市 川越南文化会館)                            |
| 10月3日  | 日本獣医師会主催2015動物感謝デーin JAPAN (東京都世田谷区 都立駒場オリンピック公園) | 12月2日     | 狂犬病予防委員会 (さいたま市 埼玉農業共済会館)                         |
| 10月4日  | 北支部学術講習会 (熊谷市 さくらめいと)                             | 12月11日    | (予定)日本獣医師会 第5回理事会(東京都港区 日本獣医師会)                   |
| 10月16日 | 北支部・しゃくなげ埼玉県支部合同学術研修会 (熊谷市 埼玉県熊谷家畜保健衛生所)          | 平成28年     |   |
| 10月22日 | 第4回理事会 (さいたま市 大宮ラフォーレ清水園)                         | 1月17日     | さいたま市支部学術講習会 (場所 未定)                              |
| 10月23日 | 第59回埼玉県公衆衛生大会 (さいたま市 さいたま共済会館)                    | 1月22日     | 平成28年新春懇談会 (さいたま市 大宮ラフォーレ清水園)                     |
| 10月24日 | 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2015 (深谷市 深谷市総合体育館)             | 1月24日     | 西支部学術講習会 (川越市 川越南文化会館)                            |
| 11月3日  | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会 (川口市 川口総合文化センター)               | 2月7日      | 関東・東京合同地区獣医師会理事会(横浜市 ホテルニューグランド横浜)                |
| 11月3日  | 横浜市獣医師会60周年記念祝賀会 (横浜市 ホテルニューグランド)                 | 2月11日     | (予定)埼玉県獣医師会ボウリング大会 (さいたま市 スポーツ浦和国际ボウル)            |
| 11月6日  | 日本獣医師会・日本医師会合同シンポジウム(東京都文京区 日本医師会館)               | 2月14日     | 西支部学術講習会(東松山市 紫雲閣)                                |
| 11月8日  | 東支部学術講習会 (越谷市 越谷サンシティ)                            | 2月26日～28日 | 平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (秋田) (秋田県秋田市 秋田キャッスルホテルほか) |
| 11月20日 | 平成26年度新入会員研修会 (さいたま市 埼玉農業共済会館)                    | 3月6日      | 西支部学術講習会 (川越市 川越南文化会館)                            |
| 11月28日 | 畜産フェア2015 (熊谷市 埼玉県農業大学校)                          |           |   |

## 編集後記

暦の上では10月24日に霜降、11月8日は立冬となり季節は冬になります。大陸からの高気圧のお陰で空は澄み渡り視界は宇宙の果てまで届きそうな勢いです。10月から11月にかけてはオリオン座流星群、おうし座流星群やしし座流星群が夜空を駆け巡ります。流れ星は、遠い銀河系の果てからやってきた彗星のほんの一部のかけらが大気圏に突入し果てる時の輝きです。太古の昔から人々は夜空に一瞬だけ耀く流星に様々な思いを込め、天地の誕生に思いを巡らしてきました。そんな天地創造の源泉に迫る研究が、今年のノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章博士の功績でした。梶田博士は本県東松山市のご出身で、西支部のソフトボール練習グラウンドである東松山南中学校で学ばれました。その後、川越高等学校、埼玉大学と埼玉県で基礎を学ばれたのち、東京大学へ進まれ今日の栄誉を獲得されました。埼玉県人とりわけ中学校や高等学校の同窓生にとっては、『同じ釜の飯を食った仲間』の意識から血縁がなくとも我が事のように誇らしく思われることでしょう。

医学生理学賞の大村博士は獣医界にとってはより一層身近に感じられる栄誉でした。大村博士の発見したエバーメクチン(Avermectin)はイベルメクチンのもととなる物質で、『寄生虫による感染症に対する新しい治療法の発見』と評価されました。1979年に発見されたエバーメクチンはその後イベルメクチンの製剤化によりフィラリア症の予防薬として画期的な貢献をし、産業家畜における寄生虫駆除薬として広範囲に使用されました。1980年代の犬の死因の主役であったフィラリア症はイベルメクチンにより駆逐されました。フィラリア症の減少により犬の寿命が延びた結果、高齢に伴う腫瘍や心臓病などの疾患が新たな研究対象となり、獣医学の新たな発展のきっかけともなりました。大村博士の発見は21世紀獣医学の発展の礎ともいえましょう。ノーベル賞受賞のお二人は埼玉県に所縁があり、ニュースによると県民栄誉

賞が贈られることとなったそうです。県民にとって、また国民にとって最大の明るいニュースとなりました。

一方、21世紀は環太平洋諸国間の自由経済圏がスタートする状況となりました。今後の半世紀をかけて関税を撤廃し、貿易の自由化が現実の問題となります。物の行き来が自由になると同時に人々の往来もまた自由になることが予想されます。それぞれ国境を隔てて育んできた文化は、大切に守らなければなりません。同時に環太平洋文明圏の確立のために相互に努力することが求められます。文化は非合理的なことや物といわれ、文明とは誰でも参加できる器ともいわれます。例えば日本文化でいえば、障子の開け閉めは、着座し、2～3段階で少しずつ静かに開けることが求められ、時間と手間をかける中に、文化のぬくもりがあり日本人ならその中に安堵感を覚えます。この不合理こそ文化と呼ぶもので、文明では、ノックをして立ったまま片手でノブを回して戸を開きます。手がふさがっていても時に足を使っても、戸の開閉という目的にかなっていれば容認されます。合理的であり誰でも参加できます。文明に参加することは、それぞれの民族が、男女平等、人権の尊重などの基本的な約束事を作り、互いにそれを誠実に守ることが求められます。国粹主義や民族主義は抑制することが必要となりましょう。このことは人類にとっての新たな試練でもあります。このように、かつて人類が経験したことのない文明社会を形成するためには、人間や人間存在というものを徹底的に問いただすプロセスこそが求められましょう。物理学は、物質存在の本質を見極めることにより宇宙の創生の解明に向かっていきます。獣医師は、動物の命の在り方を生命科学的にとどまらず哲学的に問いただし、文明への切符の割符を創造したいものです。埼玉県人のノーベル賞受賞に触発され、埼玉県人が発展することを願いながら10月号の会報をお届けします。(初雁)



また来ました♪  
今月も診断  
お願いします

# ご近所に愛される“かかりつけ” 動物病院の鉄則。

愛され動物病院4つの鉄則チェック! 貴院は対策お済みですか?



**スマホで見つけやすい!**

パソコンやスマホ検索で、見つけやすく表示しています。



**ご近所の集客術がある!**

ご近所様をHPに誘導する有効的な方法を行っています。



**満足度・信頼度が高い!**

定期診断を増やすWEBアンケートを行っています。



**広告規定を知っている!**

国が定める規定内で有効な広告施策を実施しています。

ワクチン接種など初めての通院が、定期診断につながる大きな要因だと言われています。  
そのため、この4つの対策が重要であることは言うまでもありません。

4つの  
チェック項目  
未対策  
解決

創業105年のアサヒコミュニケーションズが  
最適なWEB集客支援サービスでお応えします。

<<埼玉県獣医師会の会員様限定>> 問合せが増える! 来訪者が増える! 「10倍集客! WEB事例資料」を呈呈

ASAHi COMMUNICATIONS

反響のでるWEBマーケティングお気軽にご相談ください。

アサコミ



株式会社アサヒコミュニケーションズ  
〒365-0038 埼玉県鴻巣市本町4-3-23

**048-541-5152**



## 日本獣医師会・獣医師会活動指針

### － 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方 (One World-One Health) が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

#### 【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会(WSC)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

## アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

### 本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

### 北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

### さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

### 千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

### 茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

### 山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564